



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	31
場所	CY1通り
部位	W18B
計画通りに配筋組（横筋：D13@150mmダブル）が行われていることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	32
場所	CY1通り
部位	W18B
同上。	





令和5年4月4日	
NO	33
場所	CY1通り
部位	W18B
計画通りに配筋組（縦筋：D13@150mmダブル）が行われていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	34
場所	CY1通り
部位	W18B
同上。	




令和5年4月4日	
NO	35
場所	CY1通り
部位	W18B
壁立上がり筋との定着長さ (L1 : D13×40 = 520mm以上) が確保されていることを確認。	

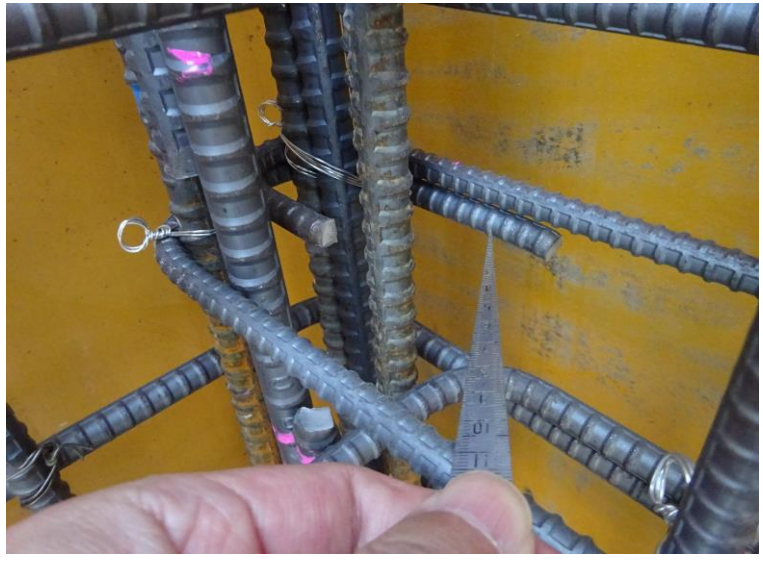



令和5年4月4日	
NO	36
場所	CY1通り
部位	W18B
W18BのL型交差部の横筋の定着長さ (L2 : D13×35 = 455mm以上) が計画通り (一方をHOOP形状として完結させている複配筋の場合) であることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

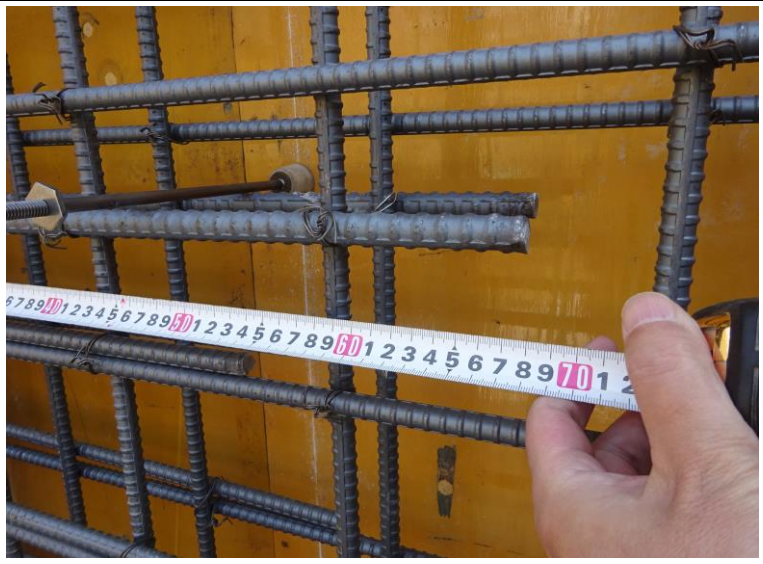
令和5年4月4日	
NO	37
場所	CY1通り
部位	W18B
<p>同上。W18のL型交差部では、一方をH00P形状として完結させている複配筋であることを確認。</p>	
	




令和5年4月4日	
NO	38
場所	CY1通り
部位	W18B
<p>開口部廻りには、計画通りの開口補強筋（横筋：2-D16）が設置されていることを確認。</p>	
	



令和5年4月4日	
NO	39
場所	CY1通り
部位	W18B
<p>同上。開口補強筋（横筋：2-D16）は、定着長さ（<math>L1 : D16 \times 40 = 640\text{mm}</math>以上）が十分確保されていることを確認。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	40
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
W12 (非耐力壁) の配筋組状況。	
	



令和5年4月4日	
NO	41
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
計画通りに配筋組 (D10@200mmシングル:縦横共) が行われていることを確認。	
	

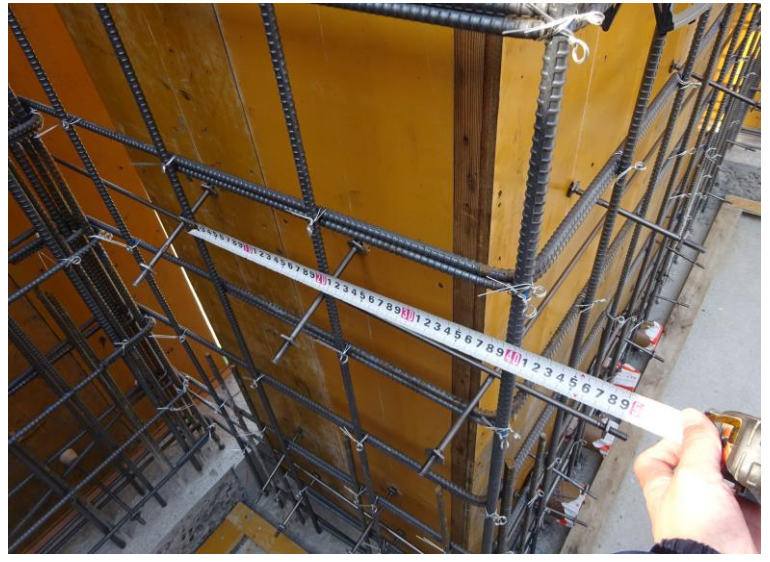


令和5年4月4日	
NO	42
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
同上。	
	

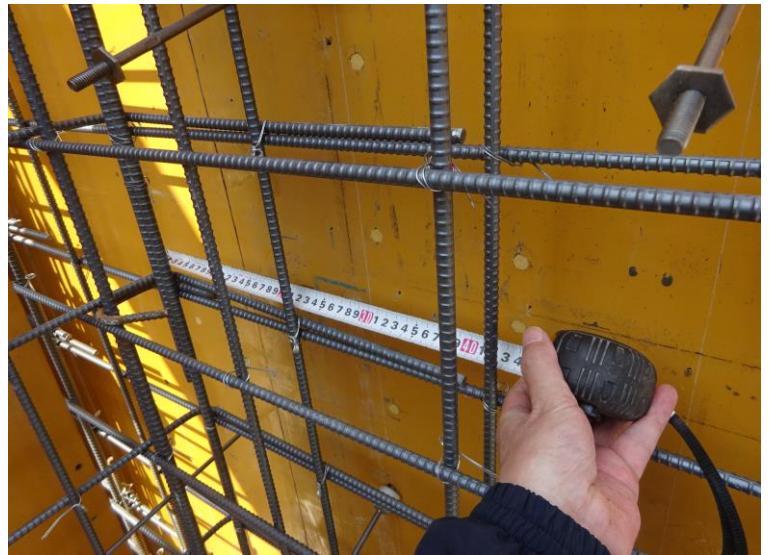



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	43
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
<p>W12 (非耐力壁) のL型交差部では、計画通りの定着長さ (L1: D10×40=400mm) が確保されていることを確認。尚、本来は片側のみの定着で良いが、両側定着とされている状況。(安全側)</p>	
	



令和5年4月4日	
NO	44
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
<p>W12 (非耐力壁) のT型交差部では、計画通りの定着長さ (L2: D10×35=350mm) が確保されていることを確認。</p>	
	



令和5年4月4日	
NO	45
場所	CD棟 (D棟)
部位	1階壁面 (DX3~5通り)
<p>CD棟 (D棟) の1階壁面 (DX3~5通り) の配筋組状況。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

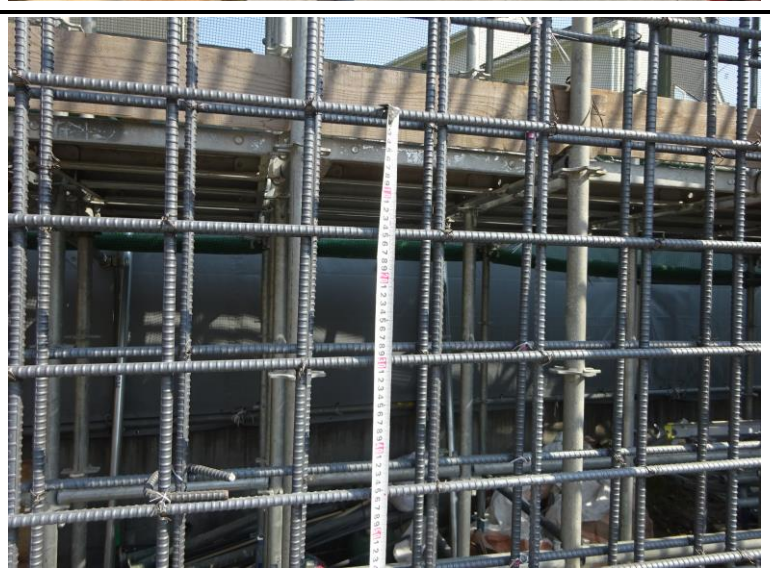
令和5年4月4日	
NO	46
場所	CD棟 (D棟)
部位	1階壁面 (DX 3～5 通り)
同上。	




令和5年4月4日	
NO	47
場所	CD棟 (D棟)
部位	1階壁面 (DX 3～5 通り)
CD棟 (D棟) の1階壁面 (DX 1～3 通り) の配筋組状況。	

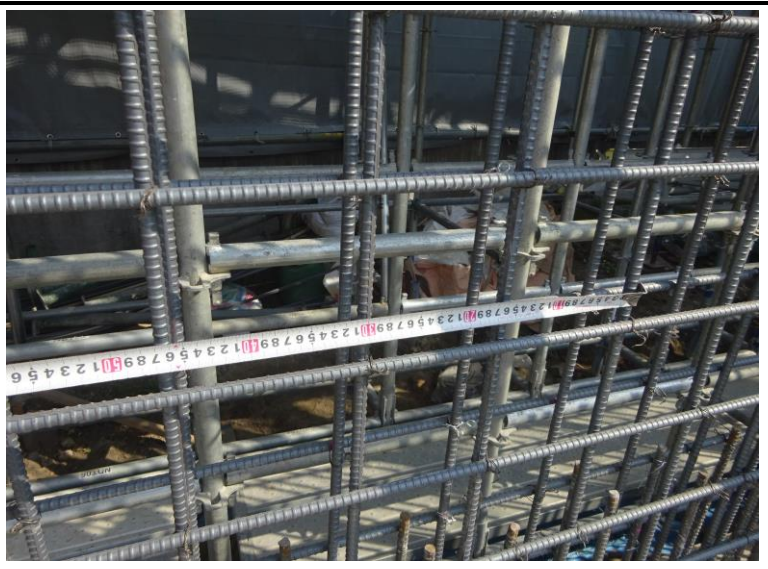



令和5年4月4日	
NO	48
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
計画通りに配筋組 (横筋: D13@150mm ダブル) が行われていることを確認。	





現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	49
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
計画通りに配筋組（縦筋：D13@150mmダブル）が行われていることを確認。	

令和5年4月4日	
NO	50
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
同上。	

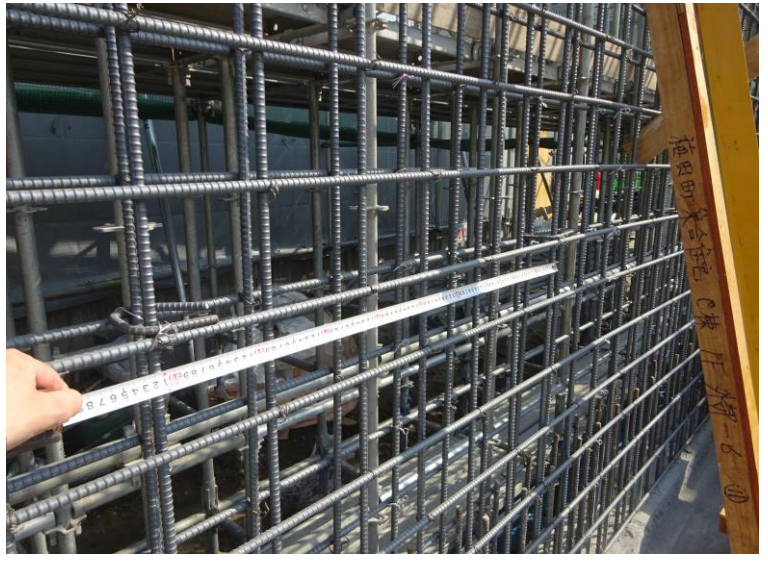



令和5年4月4日	
NO	51
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
壁立上がり筋との定着長さ（L1：D13×40＝520mm以上）が確保されていることを確認。	





現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	52
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
計画通りに巾止め筋が設置されていることを確認。(D10@1,000mm)	

令和5年4月4日	
NO	53
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
同上。	




令和5年4月4日	
NO	54
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
壁厚180+20mmに対して鉄筋かぶり厚さ30mm(内外共)が確保される状況であることを確認。	






現況検査により認められる状況の記録

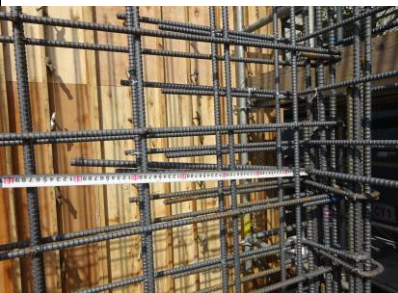
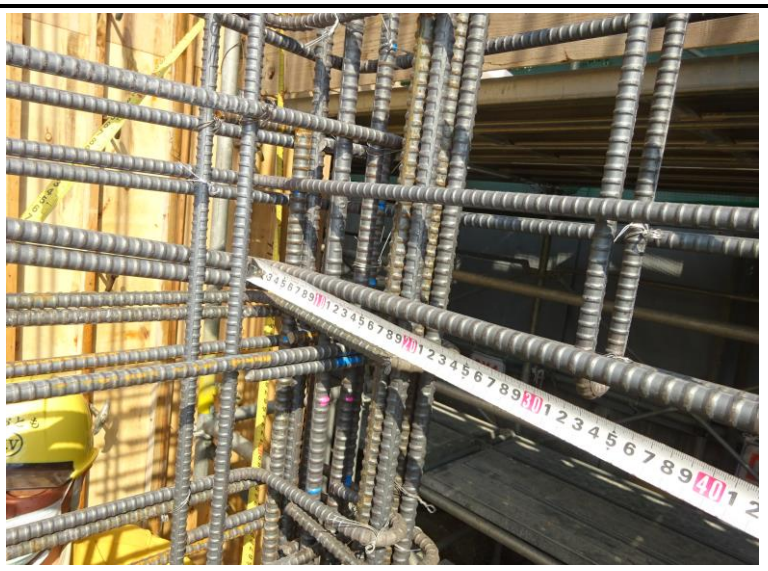
令和5年4月4日	
NO	55
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
開口部廻りには、計画通りの開口補強筋（横筋：2-D16）が設置されていることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	56
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
同上。開口補強筋（横筋：2-D16）は、定着長さ（ $L1 : D16 \times 40 = 640\text{mm}$ 以上）が十分確保されていることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	57
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B
同上。	

現況検査により認められる状況の記録

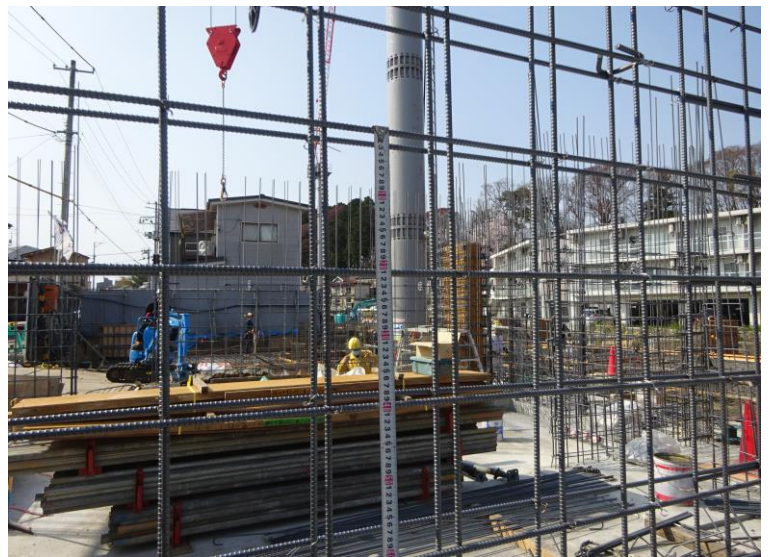
令和5年4月4日	
NO	58
場所	DX 5 通り
部位	W 1 8 B

配筋組が計画（施工図）通りであることを確認。（鉄筋間の空き寸法：35mm）



令和5年4月4日	
NO	59
場所	DX 3 通り
部位	W 1 8（界壁）

計画通りに配筋組（横筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。



令和5年4月4日	
NO	60
場所	DX 3 通り
部位	W 1 8（界壁）

計画通りに配筋組（縦筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。（縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）

